



田村 善博さん
(巽町・51歳)

仲間と築いた
手作りの組と山車
まつりへの情熱は
まだまだ止まらない

「組」

の結成から今年で20周年。節目の年に手作り山車がそろったのは不思議な巡り合わせ。そう話す田村善博さんは久慈秋まつり山車組「め組」の組頭。約40年振りに手作り山車がそろったまつりに感慨深げな表情だ。

平成元年。子どものころ手作り山車に参加するまつりを見て育った田村さんは、その歴史を終わらせたくない、と山車組「31年会」を結成。他の組が八戸からの山車で参加する中、同級生と手探りの山車作りをスタートさせた。「最初の山車は小さかったが、そ

れでも自分たちの山車。やっぱりうれしかった」と田村さんは当時の感動を振り返る。その後、八戸の山車組との交流を開始。山車作りの知識や技術を習得し、6年目には今と同等の大きさの山車となった。同級生だけでなく、より多くの人に参加してもらえようという名前の「め組」に変更した。

りをやめようと考えたことはない」と田村さんはきつぱり言い切る。結成から20周年。め組はなくてはならない存在となった。自信作という今年の山車は、ませ土風館に展示。一年間、多くの人に披露することになる。田村さんは「秋まつりには県で一番の山車まつりといっても過言ではない。ほかの山車組とも切磋琢磨して、多くの観光客が訪れる久慈ならではのまつりを作っていきたい」と今後の抱負を語る。仲間とともに一から築いた「め組」。その歩みと情熱はまだまだ止まらない。

漁船救助の功績表彰

勇気ある判断
と行動。命を
救った6・22



表彰を受けた(前列左から)高橋敏雄船長、小林敏美さん、上山勝彦さん(後列左から)大内田勇船長、中塚裕さん、工藤由夫さん

八戸海上保安部(宮城雄一郎)は9月9日、待浜町で転覆した漁船を救助した久慈市漁業協同組合(遠藤了正組合長)の組合員6人の功績をたたえ表彰状を送りました。

表彰を受けたのは第27優等丸の高橋敏雄船長、みさご丸の大内田勇船長と2隻の乗組員で小林敏美さん、中塚裕さん、工藤由夫さん(ともに夏井町)と上山勝彦さん(野田村)の6人。6月22日、牛島灯台沖で市

内の漁船が波の影響を受けて転覆。乗船していた男性は携帯電話で救助を依頼した後、海に飛び込みました。当時、海は大きなうねりがあり救助活動も難しい状況。しかし聞き付けた6人は「仲間を助けたい」「何とかしなければ」の思いでなりふり構わず現場に急ぎました。数分後、現場に到着した6人は男性に口を投げ渡し無事に救助。男性が救命胴衣を着用していたのも幸いしました。6人は無事に仲間を救助した当時を振り返り安どの表情を浮かべていました。

「わたしの主張」で大石里美さん(山根中・1年)が最優秀賞



トロフィーを手に笑顔を見せる大石さん

9月4日、普代村で行われたわたしの主張久慈地区大会(同実行委員会など主催)で大石里美さん(山根中・1年)が最優秀賞に輝きました。1年生が最優秀賞を獲得したのは25年振り。「家族の笑顔」と題し家族で支え合うことの大切さを話した大石さんは「気持ち素直に伝えられた」と笑顔。9月24日は地区代表として県大会でも熱弁を振りました。

小国小、桑畑町内会に小さな親切実行章

小さな親切運動県本部(代表・永野勝美岩手銀行会長)から小国小学校(吉田幸子校長)と桑畑町内会(船渡松雄会長)が小さな親切実行章を受けました。同運動は、日常生活の中にあるさまざまな親切に感謝の気持ちを入れて表彰するもの。小国小学校は43年間続けてきたはずらん訪問、桑畑町内会は地域内の環境美化活動が評価されました。受賞した皆さん、おめでとうございます。



桑畑町内会の船渡松雄会長



小国小学校の児童7人と吉田校長(右)

子育て支援センターだより

Tel 52-3210

■10月後半～11月前半の予定■

- ◎10/16(木) 赤ちゃんサロン 13:30～15:30
- ◎10/23(木) 絵本の読み聞かせ 10:30～11:30
- ◎10/27(月) 園開放「小久慈保育園」10:00～11:30
- ◎10/29(水) 育児講座「離乳食作り」10:00～12:00
- ◎11/5(水) 赤ちゃんサロン 13:30～15:30
- ◎11/6(木) うさこちゃんの部屋 11:00～12:00
- ◎11/10(月) 季節の遊び「手作りおもちゃ」10:30～11:30
- ◎11/12(水) ひよこ教室 10:00～12:00

■利用案内■

◇対象…就学前の児童とその保護者◇利用時間…毎週月～金曜日、8時30分～17時(土曜日は8時30分～13時30分)◇お休み…土曜日の午後、日曜日、祝祭日、年末年始◇利用料…無料

図書館だより



《市立図書館》

「いまさら聞けない科学の常識」

朝日新聞科学グループ 編
講談社



日々のニュースには科学用語がいっぱいです。常識と思われているものほど、今さら人には聞けないもの。この本で科学の常識を身に付けてみませんか。

《山形図書館》

「人生という名の手紙」

ダニエル・ゴッドリーブ 著
児玉清 監修 講談社



交通事故で両手両足が麻痺した著者が自閉症の孫にあてた人生の書。どんな境遇にあってもくじけない不屈の言葉たちが心に染み渡る一冊です。

《市立図書館 ☎53-4605》

- 開館…火～金9～19時、土日9～17時
- 休館…月曜日、祝日(祝日が月曜日に重なる場合は翌日)、毎月末日
- 図書館映画会 10/11(土)①10:00～②15:00～
- チビッコの部屋 10/11(土)・25(土)14:00～14:30
- レトロ図書展 10/28(火)～11/11(火)

《山形図書館 ☎72-3711》

- 開館…10～18時 ■休館…月曜日、祝日(祝日が月曜日に重なる場合は翌日)、毎月末日
- 読書の秋おすすめ図書展 10/24(金)～11/9(日)